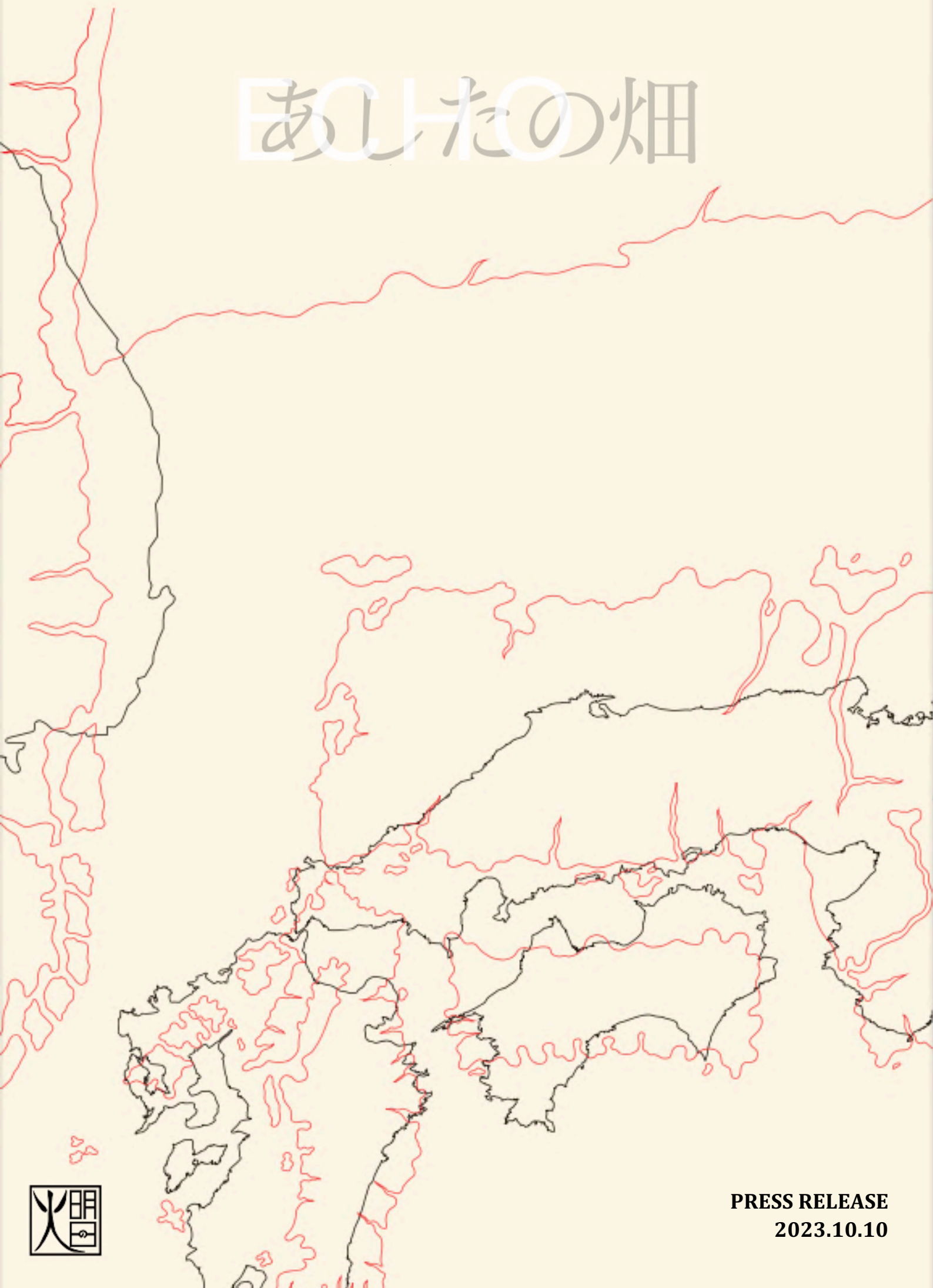


あしたの畑



PRESS RELEASE
2023.10.10

ECHO あしたの畑

2023.10.7 — 11.26.



NPO法人TOMORROWは、集落構想“あしたの畑”において、本来芸術の役割であろう心田を耕す「境界のない芸術を体感する広野」に轟く心の声=ECHOをメインテーマとし、毎年1回、食とアートと地域が連携する祭典を開催します。

地域住民と国内外から丹後を訪れる人々の心に響き、活動を担う人材の成長の場となり、上質な芸術と恵まれた自然環境により次世代を担う子どもたちの感性を恒常的に養う場となることを胸に展開する試みです。

確実に食は、アートは、大人になる前の10数年間に大切な役割を果たします。

そしてそれを育むコミュニティーの存在が市町村を形成することを考えると、辺境であれ、都会であれ、日本に居住する上で継続して果たすことの重要性を認識し、2023年（令和5年）は今とこれからを生きる子どもたちを想い、食、アート、建築、工芸を軸に、様々な人が訪れるきっかけとなるプログラムを実現します。このプログラムは一過性のイベントとは異なり、今後5年、10年と継続し、事業としての自走を目指すことを想定しながら、地域とひいては世界から必要とされる持続可能なアートプロジェクトとして成長することを目標として計画するものです。

ことばにできないから作る、というのは言い訳に聞こえます。アイデアは、蜃気楼ではなく、言（こと）は事（こと）となる現実のはずです。

創作物が、心に届き、それぞれの国、文化、風習に置き換え、それぞれの言語という記号で伝達される価値を有することを目標に、今を生きる国内外の表現者と次世代の作り手が切磋琢磨する実践の場となることにも挑戦します。

ECHO あしたの畑

2023.10.7 — 11.26.

OVERVIEW

名称	ECHO あしたの畑—丹後・城崎
会期	2023年10月7日(土) — 11月26日(日)
会場	間人スタジオ、竹野・斎宮神社、丹後古代の里資料館、道の駅てんきてんき丹後、 城崎温泉三木屋、世 SEI
主催	NPO 法人 TOMORROW、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁
共催 (丹後古代の里資料館)	京丹後市教育委員会
後援	海の京都 DMO、京丹後市、京丹後市教育委員会、京都府、公益社団法人京都府観光連盟
委託	令和5年度日本博2.0事業 (委託型)

THEME

食とアートの祭典「ECHO あしたの畑—丹後・城崎」の2023年のテーマは3つ。
かつて丹(辰砂)を生み出してきた地域である丹後の歴史に着目したアート作品、
豊かな食材と丹後ちりめんを主とする産業を革新する試み、
そして、次世代と共同で取り組む土地に根ざす新たなアートの提案です。

CREATORS

AAWAA (COSMIC WONDER) アート・衣	新里 明士 陶磁器
安東 陽子 テキスタイル	西沢 立衛 建築
池澤 夏樹 文学	畠山 直哉 写真
嘉戸 浩 (かみ添) 唐紙	幅 允孝 (BACH) 本
桑田 卓郎 陶器	テレジータ・フェルナンデス アート
坂本 健 (cenci) 食	森川 昇 記録・写真
佐藤 聡 (PONTE) ガラス	LEO アート・箏
下田 理恵 記録・デザイン	サムソン・ヤン アート
須田 悦弘 彫刻	吉岡 哲生 (ブランカ) 食
田中 義久 アート・デザイン	吉岡 幸宣 (縄屋) 食
中川 周土 (中川木工芸) 木工	

※五十音順

PROGRAMS

古代とつながる朱の世界と次世代文化ゾーン

竹野・斎宮神社、丹後古代の里資料館

竹野・斎宮神社を中心とした宮地区では、アート、工芸、建築の次世代の才能と土地が混じり合い、生まれるアートプロジェクトを展開。建築を学ぶ若者とアーティスト、工芸作家による「Field of Stars」は、リジェネラティブなアート工芸建築作品。竹野・斎宮神社では、自然と人間の関係とそこから生まれる祈り想像する「A Little Prayer」、丹後と世界とのつながりについて学ぶ「紙の本」が、隣接する丹後古代の里資料館では、原始から古代を貫通する精神世界を丹後の赤を通して想像する空間作品「丹」が公開されます。

Field of Stars		アート・コンセプト：テレジータ・フェルナンデス、 サイプレス・フェルナンデス=ダウンズ 木工：中川周士 設計：橋詰隼弥、若松晃平 「Field of Stars」 http://echo-tomorrowfield.pxxx.jp/projects/8/
A Little Prayer		陶芸：桑田卓郎 「A Little Prayer – Untitled」 http://echo-tomorrowfield.pxxx.jp/projects/3/
		麻紙：田中義久 「Song for Nature」 http://echo-tomorrowfield.pxxx.jp/projects/5/

ECHO あしたの畑
2023.10.7 — 11.26.

A Little Prayer		陶磁器：新里明士 「樹のお守り」 http://echo-tomorrowfield.pxxx.jp/projects/4/
		ガラス：佐藤聡 「樹のお守り」 http://echo-tomorrowfield.pxxx.jp/projects/4/
		建築：西沢立衛 「納屋」 http://echo-tomorrowfield.pxxx.jp/projects/6/
紙の本		選書：幅允孝 「紙の本」 http://echo-tomorrowfield.pxxx.jp/projects/7/
丹		アート・衣：AAWAA 「丹」 http://echo-tomorrowfield.pxxx.jp/projects/9/

革新する土地の食と産業

道の駅てんきてんき丹後

古代竹野遺跡の地から日本海を臨む道の駅では、京丹後の豊かな海産物を使い、国内外で活躍する料理人・坂本健（cenci）と吉岡幸宣（縄屋）が、身体にも美味しく、地元のあらたなソウルフードとなるようなレシピを監修します。「古代とあしたのレストラン」と題した限定メニューは、テキスタイルデザイナーの安東陽子が、TOMORROW インターンと共に構想した丹後織物による空間で、会期中お楽しみいただけます。

<p>TOMORROW インターンによる 丹後ちりめんの 食空間</p>		<p>清岡鈴、若松晃平 監修：安東陽子</p> <p>「TOMORROW インターンによる丹後ちりめんの食空間」 http://echo-tomorrowfield.pxxx.jp/projects/10/</p>
<p>古代とあしたの レストラン</p>		<p>坂本健（cenci） 吉岡幸宣（縄屋）</p> <p>「古代とあしたのレストラン」 http://echo-tomorrowfield.pxxx.jp/projects/11/</p>

EVENT

あしたの台所

日時：10月22日〔日〕9:00-14:00

会場：丹後地域公民館（京丹後市丹後町間人 1780）

対象：小学3年生から6年生

定員：18名

参加費：2,400円 *昼食とお土産付き


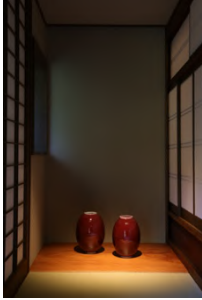


天橋立で知られる宮津市出身であり、新鮮な食材とスパイスを巧みに組合せた料理を手がける「ブランカ」のシェフ・吉岡哲生による料理ワークショップ。「目にも口にも“美味しい”食事はどのように作られるか？」を子どもたちと考え、共に食の喜びを体験する企画。

リジェネラティブアートー次世代工芸建築

間人スタジオ、城崎温泉三木

土地の風土に適したものを、生活の器を作り出す工芸作家たちが全て一から考え、大きなスケール、建材に挑む試みとして、あしたの畑の活動拠点・間人スタジオではあらたな空間「自然の部屋」を、初公開します。また、城崎で300年を超える歴史を重ねてきた城崎温泉三木屋では、『朝顔』が生まれた志賀直哉ゆかりの部屋を舞台に、須田悦弘と新里明士が建築と場所の歴史と対話を重ねた作品が期間限定で展示されます。

自然の部屋		唐紙：嘉戸浩 ガラス：佐藤聡 木彫：須田悦弘 白磁：新里明士 「自然の部屋」 http://echo-tomorrowfield.pxxx.jp/projects/1/
建築と場所の歴史 と対話する陶芸と 彫刻		彫刻：須田悦弘 白磁：新里明士 「建築と場所の歴史と対話する陶芸と彫刻」 http://echo-tomorrowfield.pxxx.jp/projects/12/

EVENT

あしたの工房

日時：11月11日 [土] 13:00-16:00

会場：間人スタジオ（京丹後市丹後町間人 2854）

対象：中学生以上

定員：8名

参加費：4,500円 *手作りのまな板制作代込み



代表作がヴィクトリア& アルバート博物館、パリ装飾美術館の永久所蔵にもなっている木工作家・中川周士による丸太からまな板をつくるワークショップ。日々の食卓と暮らしの側にある木工品とその技について、素材である木の幹から切り出し、作りながら学ぶ工房体験。

ECHO あしたの畑 2023.10.7 — 11.26.

SEI — 京都市内会場

「ECHO あしたの畑—丹後・城崎」会期中、京都市内の会場として、世 | SEI を特別公開します。同プログラムは、外観は京都の街並みに溶け込み、家に入ると「宝物」のように感じる家というコンセプトのもと、建築家・西沢立衛が京町家の伝統に向き合い、職人たちと作り上げた空間に、池澤夏樹による組誌と畠山直哉による写真作品からなる空間構成を行う試みです。



Taiza, Tango 2023



詩：池澤夏樹
写真：畠山直樹

「Taiza, Tango 2023」
<http://echo-tomorrowfield.pxxx.jp/projects/14/>

あしたの畑 STORE

ECHO 会期にあわせて、あしたの畑 STORE を二会場オープンします。畠山直哉による特装版記録集に加え、「あしたの畑」に参画するクリエイターによる作品、身近に京丹後の恵みに親しんでいただける品を展示、販売します。

丹後の風土と歴史からのインスピレーションが詰まった、日々の暮らしを考える、あしたの畑オリジナルの品々です。

日時：10月7日 [土] — 11月26日 [日] 10:00—16:00

会場：間人スタジオ、世 | SEI (日時指定予約制)

あしたの畑 STORE | <https://tomorrowfield.stores.jp/>



新里明士「五つ碗」2023年



田中義久(麻紙)、新里明士(陶磁器)

「麻紙のチャーム」2023年



ECHO

あしたの畑 — 丹後・城崎

広報画像一覧

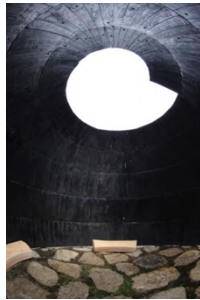
掲載媒体にご使用いただける、広報用画像をご用意しております。下記画像一覧より、ご希望の画像をお選びいただき、「画像貸出申込書」をメール（info@tomorrow-jp.org）までお送りください。

1



「神明山から望む海と丹後町宮」
2023年

2



テレジータ・フェルナンデス、中川
周土、橋詰隼弥、若松晃平、サイブ
レス・フェルナンデス=ダウンズ
「Field of Stars」2023年

3



「Field of Stars」2023年

4



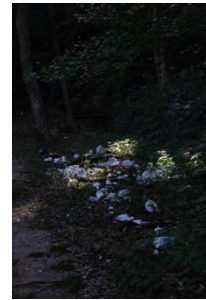
「Field of Stars」2023年

5



「Field of Stars」協働クリエイター

6



桑田卓郎「A Little Prayer – Untitled」
2019-2023年

7



桑田卓郎「A Little Prayer – Untitled」
2019-2023年

8



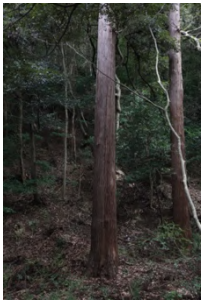
田中義久
「Song for Nature」2023年

9



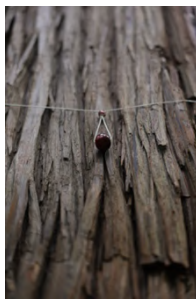
田中義久
「Song for Nature」2023年

10



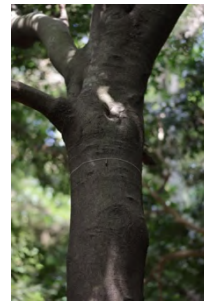
新里明士
「樹のお守り」2023年

11



新里明士
「樹のお守り」2023年

12



佐藤聡
「樹のお守り」2023年

13



「納屋」2022年
監修：西沢立衛建築設計事務所

14



新里明士・加藤貴也
「あしたの畑窯」2022年

15



幅允孝
「紙の本」2023年

16



AAWAA
「丹」2023年

17



佐藤聡 (ガラス)
「自然の部屋」2023年

18



嘉戸浩 (唐紙)
「自然の部屋」2023年

19



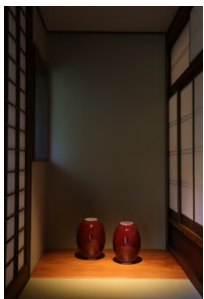
須田悦弘
「日本茜」2023年

20



須田悦弘
「朝顔」2022年

21



新里明士
「辰砂壺」2023年

22



清岡鈴、若松晃平

「TOMORROW インターンによる
丹後ちりめんの食空間」2023年
監修：安東陽子

23



吉岡幸宣（縄屋）

「古代とあしたのレストランー
海鮮お好み焼き」

24



坂本健（cenci）

「古代とあしたのレストランー新
鮮な魚介とニラのリゾット」

25



「世 | SEI」(外観)

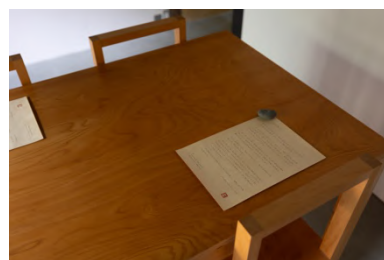
26



島山直哉

「Taiza, Tango 2023」2023年

27



池澤夏樹

「Taiza, Tango 2023」2023年

28



中川周士（中川木工芸）

「あしたの工房」

29



新里明士

「五つ碗」2023年

30



田中義久（麻紙）、新里明士（陶磁器）
「麻紙のチャーム」2023年

* 全図版（No.28を除く）共通クレジット

写真：森川昇、Courtesy of TOMORROW

Photo: Noboru Morikawa, Courtesy of TOMORROW



ECHO

あしたの畑 — 丹後・城崎

画像貸出申込

申込者	団体名		担当者				
	住所						
	TEL		E-mail				
希望画像	画像番号		画像番号				
	画像番号		画像番号				
	画像番号		画像番号				
	希望画像 サイズ・解像度						
媒体	種別	テレビ	新聞	雑誌	フリーペーパー		
		Web	その他 ()				
	媒体・番組名						
発行/放映日	年	月	日 ()	時	分 ~	時	分
掲載サイズ	全ページ	1/2ページ	1/4ページ	1/4ページ以下	A4		
備考							

注意事項

- ・貸出画像一覧に記載の通り、クレジットを明記ください。
- ・貸出画像の利用は、当該画像に係る企画またはTOMORROWに関する記事掲載の目的に限ります。
- ・校正の段階で原稿をTOMORROW事務局 (info@tomorrow-jp.org) にお送りください。

ご取材・お問合せ先

事務局：NPO 法人 TOMORROW / E-mail: info@tomorrow-jp.org



ECHO

あしたの畑 — 丹後・城崎

取材申込書

申込者	団体名		担当者名	
	住所			
	TEL		E-mail	
取材希望日	第一希望	月	日 ()	
	第二希望	月	日 ()	
媒体	種別	テレビ フリーペーパー	ラジオ WEB	新聞 雑誌 その他 ()
	媒体名			
発行/放映日	年	月	日 ()	時 分 ~ 時 分
取材内容	動画撮影	写真撮影	インタビュー	その他 ()
備考	(特殊な機材の持ち込み、お客様が映る可能性、無人の状態での撮影など)			

注意事項

- ・企画書など掲載媒体・取材内容がわかる書類の提出をお願いいたします。
- ・掲載、放映、放送等にあたっては、指定クレジットを明記してください。
- ・撮影写真、映像、広報写真等は、目的外の使用はお控えください。

お問い合わせ・お申し込み先

ECHO事務局 TOMORROW (担当：岡本)

E-mail: info@tomorrow-jp.org



WEB
<https://echo-tomorrowfield.com>



JAPAN CULTURAL EXPO 20

